

社協たより

第171号

2016.9.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail: nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP: http://www.nogata-shakyo.org/

目ごろから意識と備えを…



もくじ

- 70年目の赤い羽根共同募金 2
- 地域の輪 (ユメニティのおがたサポーター)
情報の広場 (点字講習会(入門編)受講者募集/
不登校・ひきこもり研修会)
- 図書室 (ねほけ人生) 3

- お知らせ (「平成28年熊本地震義援金」募集/
「平成28年度福祉まつり」開催/
「ゆいの会」講演会)
- ご寄付 4

子や孫に美しい地球を遺したいものです。

(石黒)



熊本地震がなかなか治まりません。亡くなられた方、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

近年、水害や地震による災害が日本列島で次々に起こっています。自然災害のニュースを見聞きするたびに、人間の無力を感じます。ゲリラ豪雨、集中豪雨、竜巻など地球温暖化が原因と言われます。私たちは温暖化の被害者であり、また加害者でもあります。

一度手にした便利な生活を捨てることは難しいことです。が、①不要な電気は小まめに消す②LED電球に替えるなどの節電③ unnecessaryなものは買わない④ゴミは分別して出す⑤リユース、リサイクルに努めることです。

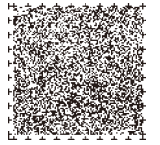
経済の発展に逆行するかもしれないませんが私たちの身近なところから実践していく防災の日(毎年9月1日)にして、子や孫に美しい地球を遺したいものです。

防災の日に見直したい
日々の暮らしについて

kantera

カンテラ





70年目の赤い羽根 共同募金

1947年（昭和22年）に始まった赤い羽根共同募金運動は、今年で70回目を迎えます。今年も10月から全国一斉に募金活動を開始して、地域でさまざまな課題を解決するための福祉活動に役立てられます。



おかげさまで70周年

たすけあいの心がルーツ

赤い羽根共同募金は、戦後直後に地域住民が主体の取り組みとしてスタートしました。生活困窮者と被災孤児の激増など、深刻な社会的・経済的混乱の中、民間社会福祉施設は被災によって激減し、物価の高騰、物資の入手難などによって、復興はおろか施設の維持さえも困難な状況となっていました。

このような状況の中、国や県などの公費を民間の社会福祉事業に使ってはならないことになり、民間社会福祉事業は大変な財政難に陥りました。

併行して、厚生省（現在「厚生労働省」）が提唱した、国民の「たすけあいの心」を喚起する「国民たすけあい運動」の一環として、第1回の共同募金運動が実施されました。

この共同募金運動は、その時々の社会的課題に対する配分を行いながら今日まで継続して続いており、現在は、地域の福祉活動を推進するための財源等に活用しています。

そして70年たった今、社会が大きく変化する中で、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は

地域住民主体の運動を進めています。長きにわたって、住民同士が支えあうための活動を行っている運動は他に類を見ません。

「赤い羽根」の由来

共同募金のシンボルとして親しまれている「赤い羽根」が、共同募金運動のなかで登場したのは、第2回の共同募金運動からでした。

当時、アメリカでは水鳥の羽根を赤く染めて使っており、それにヒントを得て、日本では不要になった鶏の羽根を使うことになり、現在は共同募金のシンボルとして、広く使われています。

共同募金運動は世界の43の国や地域で行われていますが、赤い羽根を使っているのは、日本と南アフリカの2カ国だけです。

共同募金の仕組み

共同募金は、地域ごとの使い道や集める額を事前に定めて、募金を募る仕組みです。これを「計画募金」と呼び、「助成計画」を明確にすることにより、市民の理解と協力を得やすくしていま

す。また「助成計画」があるからこそ、1世帯当たりの目安額などを定めて募金を集めることができます。もともと、募金は寄付する方の自由ですから、目安額はあくまで目安に過ぎません。（地域によってその額や方法に違いがあります）

現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、募金の約70%をさまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ」として地域のさまざまな福祉活動を支援しています。

大規模災害時にも

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。

この積み立ては、大規模災害発生時に、災害ボランティア活動支援や被災地の災害ボランティアセンターの運営等に使われています。被災された方々を支えていくために、災害時におけるたすけあいの取り組みにもつながっています。

災害義援金について

平成28年熊本地震では、県内で甚大な被害が発生し、熊本県全市町村に災害救助法が適用されました。また、大分県においても多くの被害が生じています。

災害義援金は、被災された方に対して、生活再建のためのお見舞金を給付する制度で、寄せられた義援金は全額被災された方に届けられます。

被災した都道府県は、共同募金会や日本赤十字社等から寄せられた義援金を取りまとめ、被災都道府県、被災都道府県共同募金会、日本赤十字社都道府県支部などで構成する義援金配分委員会の決定に基づいて、被災者に義援金を公平に配分します。

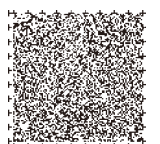
※災害義援金は、災害が発生した際に募集するもので、共同募金運動とは別の取り組みです。

私の街をもっとやさしく

赤い羽根共同募金運動は、街の人のやさしい気持ちを集める運動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きつと、街を変えていくはじめの一步となるはずですよ。

もっと、もっと、良い街になりますように皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

熊本地震義援金の詳細は4ページへ



地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

「お客様に感動していただくために」

ユメニティのおがたサポーター

7月23日、取材に訪れたユメニティのおがた大ホールは、「森麻季&横山幸雄デュオコンサート」の準備打ち合わせで緊張した空気が流れていた。

こけら落としに、日本トップのNHK交響楽団を招聘し、地方都市直方を沸かせて、早や16年になる。20名のボランティアサポーターは、大半が創立メンバー。毎月第3金曜日19時から運営会議を行い、検討打ち合わせを行う。来館者に感動をお持ち帰りいただくため、徹底した接遇研修を経たサポーターの皆さんは、それぞれの役割で活動している。メンバーの喜びは、終演

時の来館者の満足な表情と「ありがとう」の一言。



ユメニティのおがたサポーターの皆さん

そして仲間たちとの「お疲れさま」。さらに、素敵なアーティストと交わす笑顔の会話とねざら。千住真理子、高嶋ちさ子、加藤登紀子、西村由紀江、由紀さおり、最近では美輪明宏、10月には平原綾香など限らない。「私たちは、お客様のために、直方の文化の発信地として、大きな責任を背負っています」と言いながら、決められた持ち場に散って行かれた。(広田)

情報場の広場

点字講習会(入門編) 受講者募集

■日時

9月29日から11月24日までの毎週木曜日
(11月3日は除く)
10時から12時まで
※全てに参加できなくても受講できます。

■会場

直方市総合福祉センター
(直方市大字山部
616-1145)

■内容

点字の基礎を学び、実際に点字を打ち、点字の文章を訳すまでを学習します。

■参加費

テキスト代として300円

■募集人員

20人

■主催

点訳サークルきつつき

【問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
Tel 0949(23)2551



不登校・ひきこもり 研修会

元ひきこもり当事者が7年の経験と今を語る

講師は不登校・ひきこもり経験者で、現在は引きこもりの方への自宅訪問支援や子ども支援の先生として、悩みを抱える若者を支えています。

9月24日(土)

13時30分から15時30分まで

直方市総合福祉センター
(直方市大字山部
616-1145)

直方市総合福祉センター

直方市大字山部

616-1145

講師

三村 吉郎さん

対象

関心のある方、ひきこもり経験者やひきこもり家族を抱える方など。

参加費

無料(どなたでもお気軽に参加ください)

主催

学校に行かない子どもを支える会

【問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
Tel 0949(23)2551

図書室

「ねぼけ人生」

著者 水木しげる
発行所 ちくま文庫

志免町立町民図書館所蔵



「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめ数多くの妖怪漫画やNHKの人気ドラマ「ゲゲゲの女房」をご記憶の方も多い、あの水木しげるの自伝であるが、とにかく面白いエピソードが次から次へと泉のように湧き出てきて、抱腹絶倒の作品。鳥取県境港市育ちの陽気な落第生の少年時代、死の淵をさまよひ片腕を失った戦争の時代、赤貧の中で紙芝居や貸本マンガを描き続けた戦後、そして突然訪れた「鬼太郎」と妖怪ブームの中で締切りに追われる日々。波乱万丈の人生を楽天的に生き抜いてきた、したたかな日本人、水木しげるの面白くちよつぷり哀しい半生の記録。本人が別に面白いとも何とも思わず当たり前のこととして淡々と書いてあるから、一層読者には奇想天外、とんでもないことと映る。(広田)



「平成28年熊本地震義援金」募集しています

平成28年4月14日に熊本県内において地震が発生し、県民の生活を脅かし、また多数の住民に大きな被害をもたらしています。このことにより熊本県全市町村において救助を必要とすることから、災害救助法が適用されました。

この災害により被災された方々を支援することを目的に、下記のとおり義援金の募集を行っています。

金融機関	支 店 名	□座番号	□座名義
肥 後 銀 行	水道町支店	(普) 1281400	社会福祉法人 熊本県共同募金会
熊 本 銀 行	花 畑 支 店	(普) 0025449	
全国地方銀行協会及び第二地方銀行協会加盟の銀行等窓口で、振込み手数料が無料となります。備考欄に「熊本地震義援金」とご記入ください。			

金融機関	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行	00950-2-174321	熊本県共同募金会 熊本地震義援金
全国のゆうちょ銀行の窓口で、振込み手数料が無料扱いとなります。窓口にて「熊本地震義援金」である旨をお申し出ください。		

受付期間……平成29年3月31日(金)まで

※この義援金は税制上の優遇措置対象となります。詳しくは下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】 社会福祉法人 熊本県共同募金会

TEL 096-354-3993

FAX 096-353-4566

E-mail info@akaihane-kumamoto.jp

「平成28年度福祉まつり」を開催します

毎年多くのボランティアに支えられて開催している福祉まつり。

各種ステージや手話コーラス、見えにくさ体験・車いす体験・高齢者体験などの各福祉体験コーナー、おいしい食べ物や物販など催し物が目白押しです。

どなたでも自由に参加できますので、ぜひ遊びに来てみてください。

■とき

平成28年10月23日(日)

9時30分から14時30分(予定)

■ところ

直方市体育館(直方市直方674-25)

※JR直方駅から(まで)の無料送迎バスを下記のとおりに運行します。

JR直方駅発 1便: 8時30分
2便: 9時10分
直方市体育館発 まつり終了15分後

【問い合わせ】

直方市社会福祉協議会 TEL 0949(23)2551

「ゆいの会」講演会

■とき

平成28年11月7日(月)

10時から12時

■ところ

直方市総合福祉センター

■演題

双極性障がい(躁うつ病)の特性とその対処について

※質問の時間をとっています。

■講師

直方市健康福祉課職員

■主催

直方市精神保健福祉ボランティア

ゆいの会

【問い合わせ】

直方市社会福祉協議会 TEL 0949(23)2551

熊本地震では、前震翌日には二次避難所として「福祉避難所」を開設し、6月の多い時で約800人が避難生活を送りました。

自治体と協定を結んでいた福祉施設等で、災害弱者の(介護の必要な)高齢者や障がい者等に必要なケアを行うためです。

何とか適切な支援で日常生活に戻ることを願うばかりです。

編集後記

(藤田)

香典返し寄付金



(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

中 泉	植 木	植 木	上 野	上 野	頓 野	八幡西
石田マユミ	(故)草野 法作	(故)久枝 幸子	(故)武内スミ子	(故)岡本 康男	(故)荒井カズエ	(故)喜多村多恵子
植 木	感 田	山 部	知 古	頓 野	知 古	感 田
秋山富美子	(故)達見テル子	(故)衛藤ツル子	(故)山下 勝美	(故)有吉 高志	(故)花田 光子	(故)澤見 壮一
						秀樹

平成28年5月11日から平成28年8月10日

16件 合計金額 258,000円

ご寄付ありがとうございました。